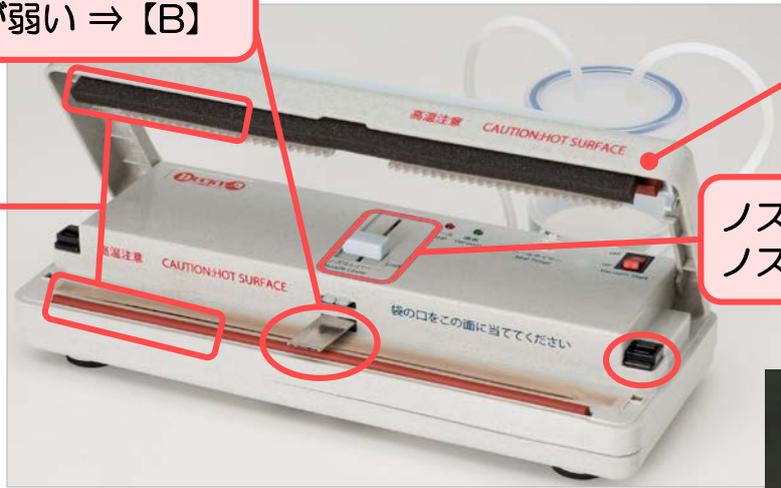


故障かな？と思ったら

ご使用方法は取扱説明書をよくお読みいただき、お問い合わせの際はこちらをご覧ください。
お手入れや部品交換がしやすく、長くお使い頂けるように商品設計されています。
吸気不良やシール不良等、故障の際は下記手順をご確認ください。確認をして頂く事で簡単に改善する場合があります。

使用方法の動画も参考にして下さい。 [DUCKY 真空パック器 動画](#) [検索](#)

吸気しない ⇒ 【A】
吸気が弱い ⇒ 【B】



トップカバーを閉める
のが硬い ⇒ 【E】

ノズルレバーが硬い ⇒ 【F】
ノズルレバーの戻りが悪い ⇒ 【F】

シールができない ⇒ 【C】
シールが不十分 ⇒ 【D】



電源が入らない ⇒ 【G】

チェック項目

【A】 吸気しない

(A-1) 本体内部の**吸気部品**の動作確認をします。

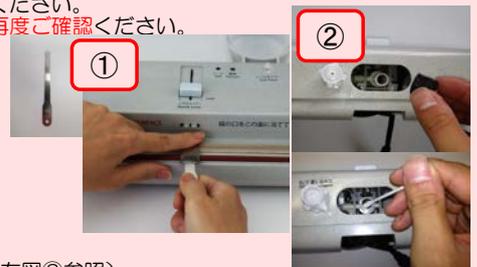
- 本体後部のチューブをはずし、ノズルを出し、袋などをセットしない状態でトップカバーを閉めてください。
- 電源を入れ、吸気サインが点灯していることを確認してください。
- 吸気サインの後ろにある**吸気口**に指をあてるなどし、吸気されている事が確認できれば正常に作動しています。

→ 吸気が確認できない場合は修理へ

- チューブを再セットする際はしっかりとめ込まれていることを確認してください。
- 付属の**集水タンク**をご利用の際は蓋と本体がうまく閉まっているかどうか再度ご確認ください。

(A-2) 付属の**ノズル清掃器具**で**ノズル**を掃除します。

- 付属のノズル清掃器具でノズル内を掃除してください。(右図①参照)
- 付属ノズルで汚れが十分に取れない場合は、本体後部のキャップと、内部の黒いキャップを外し綿棒などで掃除する事が出来ます。(右図②参照)



(A-3) **お湯**を吸わせ本体内部の**チューブ**を掃除します。

- 集水タンクをセットして下さい。
- 袋にぬるま湯(50℃以下・200cc以下)を入れお湯を吸い込ませます。(右図②参照)
- 洗浄後も吸気機能が改善しない場合はノズルとチューブの交換ができます。

→ ノズル・チューブ部品交換【交換1】へ

(A-4) 吸気の際の作業方法にはコツがあります。是非お試しください。

→ 吸気作業のコツへ【コツ1】へ



【B】 吸気が弱い

(B-1) 集水タンクを使用している場合は、**タンクの蓋と本体がうまく閉まっていることを再度ご確認ください。**

- ・ 集水タンクの蓋をしめ直す事で改善する場合があります。

(B-2) ノズルやチューブの掃除をします。

→ (A-2)へ

シールバー

トップカバー



【C】 シールができない

(C-1) シール方法を確認してください。

- ・ 袋をセットしトップカバーをロックします。トップカバーを閉める際はシールバーには触れないでください。
- ・ 十分に脱気ができた後にシールバーを押しますが、必ず両手で強く押さえてください。押えると同時にノズルレバーが戻ります、そのままシールバーを強く押さえ続けてください。(右図①参照)

(C-2) ヒーター線を確認してください。

- ・ テフロンテープを剥がしヒーター線が切れていないか確認してください。
- ・ ヒーター線が切れている場合は付属のヒーター線に交換する事ができます。

→ ヒーター線部品交換【交換2】



(C-3) トップカバーのシール部分を確認してください。

- ・ シール部分に汚れなどが付着している場合はきれいに掃除してください。
- ・ シールクッションやスポンジが劣化している場合はシールがうまくできない事があります。劣化している場合はトップカバーを交換してください。

→ トップカバー部品交換【交換3】へ

スポンジ

シールクッション



(C-4) 袋の厚みに合わせ、シールタイマーの設定を調節してください。

- ・ メモリ目安 / 真空袋 : 7 ポリ袋 : 4

【D】 シールが不十分 / シールにシワができる

(D-1) 設定や部品の状態を確認します。

- ・ シールバーをしっかりと押さえてもシールが不十分の場合は、シール部分の確認をしてください。

→ (C-3、C-4)

(D-2) きれいにシール作業をするにはコツがあります。是非お試しください。

- ・ セットする際やセットした後に袋を調整することできれいにシールできる場合があります。

→ (コツ2)へ

【E】 トップカバーを閉めるのが硬い

(F-1) 低めの作業台に本体を置き、手の平で体重をかけるように閉めてください。

- ・ 袋へ空気が入らないようにするため、トップカバーは強く固定する必要があります。
- ・ 手でつかむように閉めるより、上から体重をかけて押すように閉める事で楽に閉めることができます。

→ (コツ3)へ

【F】 ノズルレバーが硬い・ノズルが戻りにくい

(G-1) 使用始めはノズルを出すのが硬い場合があります。

- ・ 十分なバネの強度を考慮しているため、使い始めはノズルを出すのに硬く感じる事がある場合があります。
- ・ 何度か繰り返して使用していただくことでスムーズな動きになります。

(G-2) タイミングをわずかにずらして、シールバーの①②の部分を押すとうまくノズルが戻ります。

- ・ 片手でシールバーをおしたり、早く押しすぎたりするとノズルがもどりにくい場合があります。
- ・ バネがのびてしまいノズルの戻りが悪くなった場合はバネの交換ができます。

→ バネ部品交換【交換4】へ

【G】 電源が入らない

(G-1) コンセントをつないでも電源が入らない場合は断線の可能性があります。

- ・ コードが付属した裏蓋部分を交換することで修理することができます。
- ・ コードは圧着端子などで、本体内部でつなげる必要があります。

→ 電源コード交換【交換5】

→ 交換ができない場合は修理へ

真空パック作業をする時のコツ！

※使用方法の動画も参考にしてください。 [DUCKY 真空パック器 動画](#) [検索](#)

【コツ】 空気をきれいに抜く為に

(コツ1) 空気の通り道をノズル方向に作ってあげます。

- ・ 袋をセットした後、内容物をノズルの近くに近づけます。(右図①参照)
- ・ ノズル口に袋が密着し空気が抜けにくくなる場合は、ノズル周辺の袋を親指と人差指でつまみ、擦り合わせるようにすると空気が抜けやすくなります。(右図②参照)
- ・ 内容物に対し袋が大きすぎる場合は吸気がしにくくなります。袋のサイズを変更していただくか、あらかじめ手でおおまかに空気を抜いていただくから作業を始めてください。



(コツ2) シールをきれいにするには

- ・ 袋をセットしトップカバーを閉めた後、袋を左右に広げるようにひっぱります。
- ・ シールが弱い場合は、シールタイマーでシール時間を調節して下さい。
- ・ 一定の力でシールバーを押し続ける事できれいにシールができます。



(コツ3) トップカバーを閉める際は、低めの作業台で体重をかけるようにして閉めていただくと楽にできます。

- ・ 一定の力でシールバーを押し続ける事できれいにシールができます。(右図③参照)



部品交換方法

【交換】 ヒーター線、テフロンテープの交換方法

(交換-1) テフロンテープを剥がします。

- ・ 古いテフロンテープを剥がします。剥がした再は粘着汚れを掃除してください。

(交換-2) ネジをゆるめ、ヒーター線をとりはずします。

- ・ 左右のネジを外しヒーター線を取り外してください。
- ・ ヒーター線はテンションがかかった状態でネジとめされていますので、ネジを外す際はご注意ください。

(交換-3) ヒーター線を取り付ける。

- ・ ヒーターには裏表があります。平らな面を上にして取り付けて下さい。
- ・ ヒーターにテンションをかける為、取り付けの際は取り付け部分をマイナスドライバー等で内側に寄せた状態でネジを締めます。(右図①参照)

(交換-4) テフロンテープを貼ります。

- ・ 汚れが無いことを確認し、テフロンテープを貼りつけます。

